

授業科目名 (英文名)	会計システム論 (経営学部・専門科目) (Accounting Regulations and Disclosure)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	
担当教員	辻川 尚起	所属	
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本講義の目的は、会計およびディスクロージャーの制度に関して、簿記の生成・展開から国内外の制度が形成されていくにいたる歴史の変遷 (会計史) と現行の会計システムの概要、会計ルールが制定される政策過程 (会計規制論)、会計システムの機能とその経済的影響 (実証会計論) に関して検討することです。会計学の基礎的学習を踏まえ、財務会計の制度的側面を多面的に理解することを到達目標とします。</p>		
講義内容・授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会計システムの過去と現在 (第1回から第14回) <ol style="list-style-type: none"> 1.1 会計システムの歴史 1.2 現代の会計システム 1.3 会計の制度 1.4 会社法による会計 1.5 金融商品取引法による会計 2. 会計システムの設定過程 (第15回から第24回) <ol style="list-style-type: none"> 2.1 マクロ会計政策と会計規制 2.2 会計規制の存在理由 2.3 会計基準の設定過程 2.4 会計規制の実施過程と政策評価 3. 会計システムの機能と経済的影響 (第25回から第30回) <ol style="list-style-type: none"> 3.1 会計システムの機能 3.2 情報提供機能と株式市場に及ぼす影響 3.3 利害調整機能と経営者行動に及ぼす影響 <p>評価 (第31回)</p> <p>講義方法は、いわゆる講義形式で行います。出席はとりません。</p>		
テキスト	テキストは使用しません。自習したい人は下記の参考書等を利用してください。		
参考文献	ウオ - ク, ドッド, ロジスキー 『アメリカ会計学 - 理論, 制度, 実証 - 』 同友館。 岡部孝好 [2009] 『最新 会計学のコア [三訂版] 』 森山書店。 (学術情報館所収) 桜井久勝 [2018] 『財務会計講義 (第19版) 』 中央経済社。 (学術情報館所収) 須田一幸 [2000] 『財務会計の機能 - 理論と実証 - 』 白桃書房。 (学術情報館所収)		
成績評価の基準・方法	原則として、中間テスト (40点 ノート持込可)、レポート (20点)、期末試験 (40点 持込不可) を総合して判定します。出席はとりません。 なお、成績評価に関しては、この講義に対する下記のような理解度を目安とします。 (S・秀) 講義内容を網羅的に適切に理解し、発展的・実践的に活用することができる。 (A・優) 講義内容のうち、基礎的・応用的な事項の理解ができており、活用することができる。 (B・良) 講義内容のうち、基礎的・応用的な事項の理解がおおむねできている。 (C・可) 講義内容のうち、基礎的な事項の理解がおおむねできている。		
履修上の注意・履修要件	会計学総論の内容を理解していることを前提に講義します。 また、予習・復習が必要となることは当然のことであり、特に科目の性質上、復習を重点的に行うことが講義の理解度を高めるために求められます。		
実践的教育	該当しない		
備考	オフィス・アワーは研究室で対応しますが、所用で席を外している場合もあるため、アポイントメント (会う約束) を事前にとってください。質問・相談などがあれば遠慮なくお気軽に。		

担当教員は、この科目と関連する会計学（財務会計）を専門研究領域としている。